

DMG MORI SAILING TEAM

DMG MORI SAILING ACADEMY に Figaro Beneteau3 号艇が新登場 2024 年シーズンに向けて新たな目標を設定

2022 年および 2023 年シーズンの Mini6.50 キャンペーンで成功を収めた DMG MORI SAILING ACADEMY(以下、アカデミー)は、2024 年 Figaro Beneteau(フィガロ・ベネトー)レーシング・シーズンに参加するため、新たに Figaro Beneteau 3 号艇(艇名:DMG MORI ACADEMY)を迎えました。スキッパーはローレ・ギャレーが務め、2021 年に DMG MORI SAILING TEAM(以下、チーム)が建造した Mini6.50 艇の舵取りは 2 人の新しいスキッパー研修生が務めます。アカデミーは、スキッパー研修生とともに成長し、彼らの外洋セーリングにおけるキャリアをサポートします。

アカデミーの成功はその結果が物語っています。2022 年 2 月にアカデミーを設立し、若いセーリングの才能を開花させて以来、ローレ・ギャレーは目覚ましい成長を遂げてきました。2022 年と 2023 年、彼女は 2 度の優勝、5 度の表彰台、そして「Mini Transat 2023」を除くすべてのレースで上位 10 位入りを果たしました。「Mini Transat 2023」では総合 14 位で完走しました。表彰台争いの上位にいたにも関わらず、セールの不具合でレース最終週に順位を落としてしまいましたが、彼女は決してあきらめず、問題を解決してゴールであるグアドループ島に無事到着しました。

ローレ・ギャレーが Mini 6.50 のスキッパーを退任し、2024 年シーズンに向けて Figaro Beneteau 3 号艇の舵を取ります。

Figaro Beneteau 3 号艇は、1 艇 1 艇が異なるミニ 6.50 艇とは対照的に、10.85m のワンデザイン艇です。天候、決断力、そしてボートのトリム精度がすべてを左右します。ローレ・ギャレーにとって、オフショアセーリングの世界を続けることは論理的な道なのです。

2024 年の Figaro Beneteau シーズンは 5 つの主要レースで構成され、その中でも「ラ・ソリティア・デュ・フィガロ」は最も重要なレースです。夏の終わりに開催される 3 部構成のレースで、多くの第一線で活躍するスキッパーが参加しています。

◆ローレ・ギャレーからのコメント

「Mini Transat 2023」の終了とともに、私にとって Mini 6.50 プロジェクトは幕を閉じました。この 2 年間は、DMG MORI SAILING TEAM とともに素晴らしい冒険を経験することができました。この Mini6.50 クラスでの経験は、私のセーリングへの愛情をさらに高めてくれ、Figaro Beneteau 3 号艇クラスで外洋セーリングを継続できることに感謝しています。この新しいプロジェクトを支援してくれた DMG 森精機にとっても感謝していますし、3 月中旬の Figaro Beneteau の初レースが楽しみです。"

◆DMG 森精機株式会社取締役兼 DMG MORI Sports Marketing SAS マネージングディレクター イレーネ・バーダーからのコメント

ローレ・ギャレーとアカデミーの若い才能たちの野心、技術的親和性、回復力を目の当たりにし、大変誇りに思います。当初から私たちの目的は、セーリングの知名度を世界的に高め、次世代のセーラーに道を開くことでした。このユニークなアカデミー・プロジェクトがどのように発展していくのか、私たちは楽しみにしています。

◆Mini Transat 2025 を目指す新スキッパー研修生

2022年2月の設立以来、アカデミーは研修生とともに成長し、外洋セーリングのプロとしての道を歩んできました。ローレ・ギャレーが Figaro Beneteau 3 号艇のスキッパーとなり、三瓶笙暉古が習得した技術と知識を IMOCA 艇のメンテナンス担当として活かすことで、2024-2025年シーズンには新しいスキッパーがアカデミーの Mini6.50 艇の舵を取るようになります。

DMG MORI Global One Mini 1046 艇のスキッパーは國米創(こくまい はじめ)、DMG MORI Global One Mini 1048 艇のスキッパーはアレクサンドル・ドゥマンジュが務めます。両スキッパー研修生は、若手人材育成プログラムが設立された2022年から、コスキッパーとしてアカデミーの一員となっている。國米創は、2021年まで東京五輪への出場を目指し日本代表選考に参加していましたが、オフショアレースに出場したいという彼の希望は、アカデミーのメンバーになるための論理的な方法でした。アレクサンドル・ドゥマンジュはエンジニアの資格を持ち、オリンピック選手としてフランスを代表するトップクラスのセーラーです。彼らは2024年と2025年の Mini6.50 シーズンに出場し、最終的には2025年の「Mini Transat」への出場を目指します。日本からは他に3名のスキッパーがアカデミーに参加し、日本とフランスで学び、トレーニングを積む予定です。



Figaro Beneteau のレースシーズンに向け、活動拠点ロリアンにて準備を進めるローレ・ギャレー

©QAPTUR

◆DMG MORI SAILING TEAM について

2018年に設立されたDMG MORI SAILING TEAMは、フランスのロリアンを拠点とするプロフェッショナル外洋セーリングチームです。日本人スキッパーの白石康次郎選手とメンバーは、世界で最も過酷なレースと言われる単独・無寄港・無補給の世界一周レース「Vendée Globe 2020」をアジア人として初めての完走を果たしました。2021年に設立されたDMG MORI SAILING ACADEMYでは、若い才能がDMG MORI SAILING TEAMに所属することで、外洋セーリングに携わり、その能力を伸ばしています。

◆DMG 森精機株式会社について

DMG 森精機株式会社は高精度工作機械の世界的リーディングカンパニーであり、世界43カ国に116の販売・サービス拠点(17の生産工場を含む)を展開しています。「グローバル・ワン・カンパニー」のもと、13,000人以上の従業員が製造業における総合的なソリューションの開発を推進しています。当社のポートフォリオは、旋盤加工、フライス加工、研削加工、ボーリング加工、超音波加工、レーザー加工、積層造形などの技術に基づく持続可能な製造ソリューションを網羅しています。DXを駆使し、工程集約、自動化、GXを進めるマシニングトランスフォーメーション(MX)を通して、サステナブルな社会の実現に貢献します。

以上